

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

第 2 回 中山間地域振興特別委員会記録

日 時 平成 30 年 1 月 23 日 (火)

12 時 59 分～14 時 31 分

場 所 第 4 委員会室

【出席者】 飛野委員長 布施副委員長 三浦委員 西川委員 川上委員 柳楽委員
串崎委員 上野委員 岡本委員 芦谷委員 永見委員

【議長団】 川神議長

【事務局】 小川局長 鎌原係長

議 題

1. 中山間地域の定義について

資料 1 …… 国の考え方

資料 2 …… 島根県の定義

資料 3 …… 他市の定義の例（上越市）

まとめ：今は定義を決めず、テーマと連動させていくこととなる。

2. 調査・研究テーマについて

資料 4 …… 当委員会の調査事項（設置議案より）

資料 5 …… 島根県中山間地域活性化計画

資料 6 …… 「小さな拠点づくり」の取組み

まとめ：委員から各自治区の課題等を出してもらって整理することとなる（提出締切 2 月末）。また、資料として、執行部から、まちづくり総合交付金の地域課題解決事業の一覧を提出してもらうこととなる。

3. その他

○次回開催 3 月 19 日 (月) 13 時 第 4 委員会室

飛野委員長 第2回中山間地域振興特別委員会を開会する。開会に先立って議長から発言の申し出があったのでこれを許可する。

川神議長 私から一言お願いを含めて話をしておきたい。当特別委員会が設けられた経緯は既にご存知だと思ふ。人口減少、独居老人問題、公共交通機関など、中山間地域と呼ばれる所の課題は多岐にわたっている。常任委員会でも協議される内容ではあるが、総合的に課題解決をしていき、更には1つでも2つでも有益な振興策を執行部に出していくことが当委員会の目的である。

何と言っても最初に、中山間地域の定義は何か、浜田市はどうかといった点について共通認識を持ちながら進めていかねば、委員会の趣旨もぼやけてくる。飛野委員長にお願いして、まずはその辺を認識してから進めていただきたいと思っている。

この問題はいつまでに何を出せというのが難しいが、新聞紙上には毎日のように中山間地域や過疎地域の問題が掲載されている。是非皆さんの知恵、議会の知恵をしっかりと意見に反映すべく、当委員会の皆さん方にご議論いただきたい。

飛野委員長 私も委員長という大役を預かり身の引き締まる思いがする。大きく深い課題を扱っていくと思ふ。委員一丸となり知恵をお借りしながら前に進めたらと思っている。この中山間地域に安心して住んでいけるような振興策をしっかりと話し合っていく必要があるかと思ふ。

こういった取り組みは少し遅い、中山間地が随分くたびれてきている中である。どうかしっかりやっていきたい。今日はたくさんの資料を作っていたらいい。問題意識を共有できるよう勉強もって1つの大きなテーマに立ち向かっていく。その部分は時間をかけてやっていくべきだと思ふ。

1. 中山間地域の定義について

飛野委員長 議題1について事務局からご説明をお願いする。

小川局長 前回の会議の時に、次は中山間地域の定義と研究テーマについて協議をしようというお話があったので資料を作ってみた。

(以下、資料をもとに説明)

飛野委員長 大変詳しい説明だった。いまの説明について皆さんの感想なりご意見のある方は。

川上委員 先般も話したが、境を決めるのが難しいのが事実。いずれもこれらしきものはないので、一応浜田市は全てを対象として考えておいた方が良くかと思ふ。強いて言えば町内会活性化にはどうするかとか。

飛野委員長 他に。定義を決めるのが一番肝だと私も思っている。従って先ほどの説明を踏まえて十分な議論をしていかねばいけない部分だと思っている。しっかり時間をかけて土台を作ることが今後活かされると考える。

- 西川委員 どうかこの定義に関して色々な観点からご意見をいただきたい。
- 布施副委員長 何パターンから定義を持って、調査事項に合わせて、この事項はこのパターンといった考え方があっても良いと思う。
- 飛野委員長 基本的には川上委員や西川委員が言われたように、浜田市は全体が中山間地域だと国県に定義づけられている。平成29年度から支障木・危険木除去事業の対象になっている浜田市都市計画区域の用途指定地域外を括って、項目においては全体に関わるものについては全体で討議していくということも頭に入れた方が良いのではないかと思う。
- 柳楽委員 浜田市としても今のところ棲み分けはしていない。従って叩き台となる目標数値もない。しかし浜田市独自の棲み分けも可能である。それを踏まえて定義を定めていけたらと思っている。
- 川上委員 最初に定義や範囲を決めるというのはすごく難しい気がする。それより「こういったことが大事だ」というのを決めて、その対象になる所を考えた方が良いでしょう。
- 芦谷委員 私も柳楽委員の意見に賛同する。
- 岡本委員 大変よく分かる資料を準備してもらった。事柄で市街地も中山間地域も超えた形で議論していく中で、地域割りの議論が出ればそこで話しても良いと思う。今のところは柳楽委員が言われるように、国県は浜田市全域を中山間地域として定めているのだからそれに沿って我々も議論していったら、そこで困ったことがあれば改めて議論すれば良いと思う。
- 飛野委員長 私も皆さんの意見に同調するが、先ほど布施委員が「都市計画区域内・外」という話をしたが、計画区域内も山間部もかなり高齢化が進んでいるという話がある。皆さんの意見と同じように全市的に考えるべきだろう。
- 川上委員 冒頭に言ったとおり、奥が深く幅も広いので、色々な議論を通じてお互いに認識を高めながら、その結果一つの定義を持っていくという考え方もあろうかと思う。しかしながら副委員長も言ったように中山間地域の危険木伐採について、平成28年度に議論をされた部分が、今回の課題に対して一番手近に決められた実績だと考えている。それも踏まえて、もう少し議論を深めていけたらと思うがいかがか。こちらの考えと県の考えが違う。一つの恣意的なものがない中での話である。当委員会のような趣旨の委員会は他にはなく、県内初だと聞く。それだけ難しい部分があるかと思う。それだけにしっかり定義部分を深めていく必要はあるかと思う。
- 飛野委員長 先ほど岡本委員が言われた、小さな拠点づくりは大事だと思う。やっているところを見に行ってもよいと思う。私は金城の雲城だが、それを裏返して、小さな過疎づくりから始めようということで進めている。周辺が寂れたら拠点も消えるということで周辺部に力を入れる自治体もあるそうだ。それを参考にするとか。そうすれば中央部の旧浜田市街地にとっても参考になるのではないか。
- 飛野委員長 小さな拠点や具体的な調査研究テーマ的な話も出てきている。そうい

う中で、それは主に議題2で取り上げるべき内容だと思う。そういうことも考え持っていてないと定義ができないということなのだろう。そうすると議題2も含めて総合的に考えないといけない。

議題2についてはどうか。皆さんから広範囲にわたる意見があり、なかなか定義づけがすんなりいかないようだ。

布施副委員長

皆さんから、全体的に考えることも重要だという意見が出た。全体を中山間地域として考えることを前提に、項目によっては区域を決めてしっかり議論していく。まずそのためには川上委員が言われたように、中山間地域に指定している所の小さな拠点、小さな郷づくりの研究に行くべきことを含めながら決めていった方が良いのでは、という意見があったと思う。皆さん、定義づけは今日の会議では決めずに、大まかなところは全体で決めていく、項目によってはしっかり地域を指定という感じでよろしいか。

飛野委員長
三浦委員

副委員長からの発言のとおりでよろしいか。

今おっしゃった考え方に私も賛成。ただし、議題2にて、これから何を扱うかをテーマに話しをされると思うが、そのテーマが浜田市全体に関わる問題全てとしてしまうと、では常任委員会で扱うテーマは何なのか、この特別委員会は本当に一体何を目的に立てたのかが曖昧になるような気がしている。なので、中山間地域の定義をここで定めないにしても、これから調査研究テーマを、この特別委員会で何をやるのかを考えた時に、中山間地域振興という所を掲げているわけだから、それに基づいたテーマ設定をしていくべきだと思う。そこは次の項目なので、それがこの委員会で扱うに相応しいかどうかは議論となると思うが、そういう点は考慮すべきだと思う。

飛野委員長

貴重な意見だ。ではいまのご意見を含めて並行して考えながら次の議題に移ることとする。よろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのようにさせていただきます。

2. 調査・研究テーマについて

飛野委員長
小川局長
飛野委員長

議題2について説明をお願いします。

(以下、資料をもとに説明)

詳しい資料を用意してもらった。濃い内容だったので理解するのが難しい部分もあるが、とりあえずこれらを参考にしながら調査研究テーマを見出していったらと思う。特に何かあれば。

串崎委員

小さな拠点づくりと、いただいた資料の別紙4の元々の調査事項、もう決まっているが、要するに小さな拠点づくりをすればこの物が全部網羅できるといった話になるのだろうと感じているが、ちょっと話が大きすぎて大変なのかなという感じ。各自治区で一番困っている点を何点か絞って出してから、小さな拠点づくりの一部分で重点的に何をやっていくか整理していかないと難しいかなと感じる。まず、各自治区でこれだ

- 飛野委員長 　　という点を二つ三つ出し合ってから整理した方が良い気がしている。
- 飛野委員長 　　各自治区も本庁も含む、常任委員会も含む、各部署を含む多岐にわたるが、先ほど説明があったところで、ある程度目的や項目等を抜粋されたものを載せていただいている部分もある。市長の所信表明に出てきた部分も網羅している所がある。そういった意味ではある程度絞られてはいる。串崎委員がおっしゃったように、各地域において課題・テーマは違うと思う。その中でそれをいかに吸い上げてくるかも含めて一緒に勉強しをもって、総合的にテーマを絞ったり、最終的な定義がその辺にあるのではないか。良い参考になった。
- 永見委員 　　私も串崎委員が言ったことにだいたい賛成。しかし、せっかくこうして小さな拠点づくりを各地域で行っている資料を用意してもらっての、その内容に沿った対応を検討したら良いのではと思う。
- 芦谷委員 　　串崎委員の意見もよく分かるが、資料6を見ると、県が浜田の公民館26館に入っている。これは県の職員が入って、市の職員も同行だと思うが、言いたいのは、小さな拠点づくりの所管課と、農山村では中山間地域直払い等の交付金等もあるので、中山間地域に関わる市の所管課の現状報告をしていただければ、色んな課題が分かると思う。各自治区から出すのももちろん良いが、中山間地域振興というキーワードで市がやっておられることについて、かいつまんで市の状況を聞かせていただければと思う。
- 飛野委員長 　　国も県もそういう方向の中で、浜田の独自カラーを盛り込んでいくべきだと思っている。
- 布施副委員長 　　小さな拠点づくりに取り組んでいる所に視察に行く、もう一つは地域の問題点に既に取り組んでいる所を参考にして意見集約をしていく、所管されている担当部署に、市としての取り組みの現状を聞いていく、ということだと思う。一つずつ皆さんが言われた点をクリアしながら、どういうことが出来るかに取り組んでいくことを提案する。どれから先にやるかという思いがあるのだが。
- 川上委員 　　芦谷委員が言われた、行政に確認をするのも大事だと思う。2月7日に県民会館でまちづくり成果発表会というのが開催される。これはかなり面白い。2月17日県大でまちづくり交流会が行われる。これも各地域の成果発表などがあり参考にする必要はあると思う。是非見ていただきたい。
- 飛野委員長 　　今現在浜田市にある中山間地域振興活性化プロジェクトチーム、こういうのがある。その中でこれを再編したい部分があるのかと。市はこれを変えたいのか。整合性を持って進めるのも一つの方法だと思う。
- 小川局長 　　市の中山間プロジェクトチーム再編成の関係に触れられたので、執行部から聞いている話をお知らせする。以前は計画を作るために中山間地域プロジェクトチームを作った、けど今回は総合的な施策推進となるようなプロジェクトチームを再編成してやっていきたいと。検討ポイントを何点か挙げて今から作るのだが、当委員会が決めたテーマに合わせ

と一緒にやりたいと。並行的に意見交換したり情報公開したりしながら出来る方向で進めていきたいという意向は聞いている。作るのは事務的に動ける課長クラスで構成し、現場が分かるような話が出るチームにしたいと言っている。だから先にある程度の意見集約をして、プロジェクトチームとの連携ができれば一番話も進めやすいし良い方向に行くのではないかと思っている。

飛野委員長
芦谷委員

芦谷委員、それについてご意見は。

いや、僕が言ったのは課題を抽出するために全体をもう少し踏み込んで知った方が良いのではという提案のつもりだった。

飛野委員長
串崎委員

今、あえて皆さんから意見があれば。

多分このまま話していても落とし所はなかなか見つからないだろう。次の会議までにある程度まとめていただき、次にテーマを決めることとしたらどうか。

飛野委員長

次の会議の提案までいただいた。言われるとおりで、今回持ち帰っていただいて次の会議は充実できるようにしていただきたい。次回持越しの形になってしまった。

布施委員

次の会議を開くためのテーマを決めることも大事だが、今出てきた意見は、何をしたらどうなるかは資料を見れば分かる。各自治区ごとに委員もおられるので、問題点を出していただき、それが常任委員会と被るもの被らないものの整理をしながら問題点を出し、それに沿って次は行政の取り組み事項も一緒に説明を受けたり、推進していくべきものはやっていく、というやり方になっていくと思う。小さな拠点づくり以外にも色んな問題がまだあると思う。それを踏まえながらだしていただくといった進め方を次回にやってみてはどうか。

上野委員

通る通らないは別にして、地域課題解決事業が各地域から出されているが、そうした活動が分かれば参考になる。

小川局長

それは公民館担当、生涯学習課か。

上野委員

まちづくり推進課。

布施副委員長

地域課題解決のために2段階・3段階部分があるではないか。

小川局長

まちづくり交付金の中の課題か。了解した。

布施副委員長

要望を出したが弾かれた部分もある。ああいうものが検討になるような方法もあるのでは、という話。

小川局長

それも資料としてもらうこととする。その他にもあればということで、各委員は正副委員長のところまで、課題の羅列でもいいので出していたら、まとめてこの資料と併せて次の時に出したいと思う。

布施副委員長

先ほど三浦委員が言われたように、常任委員会と被る部分が結構出てくるので、それは出した状態で整理していった方が良いと思う。最初から被るからと削除していたら項目が少なくなる。意見は自由に出してもらい、そこから振り分けをすればいい。

柳楽委員

副委員長の意見がどうこうというわけではないが、また分からなくなってきた。もともと4項目を検討項目として考えるということ

だったと思うのだが、1項目ずつの中でも、農業なら担い手確保だとか、草刈りの問題とかいくつかが項目があって、そこに辿り着けるのか不安になってきた。私の思いではこの4つの中から今日決めてしまうのだと思っていたので。

飛野委員長

私ももう指針は決めていただいている中でここからスタートだと私も思っていた。その方が本当なら楽だ。でないと全体で会議を開けば大変な作業になってしまう。でもここに書いてある4項目はそれほど簡単なものではない。全体の問題の中で課題を探す、まちづくりの課題解決から探すのも良いが、基本はこの4項目で進めていってくれと引き継いだので、一応これが基本。プラスアルファで浜田市独自云々はまた別個の受け皿でやっていきたい。

布施副委員長

それを含めながら色々言った方が良い。柳楽委員の意見を集約するが、色んな意見が出るのはワークショップでよくあるようにグループ分けして、既にある4項目に当てはめていく、浮いた問題点についてはまたグループを作って一つのくくりにして検討していく。そういう進め方ができると思うがどうか。

飛野委員長

ますます意見が出てきた。グループ分けの話だが、私が考えていたのは各自治区で担当を決めたいと勝手に考えていた。各自治区に担当委員としてこの11人を配置したいと思っていた。しかしいま4項目のグループ分けをしたらどうかという意見が出た。この意見について皆さんどうか。

川上委員

良いと思う。

柳楽委員

あの、多分いまのお話は、先ほどから色々な資料を出されたりとかそれぞれの自治区の意見を集約したものを次回に持ち寄って、出たものをこの4項目に振り分けていくというグループ分けのお話だったと思う。

布施委員長

委員長は次の段階の、委員さんの振り分けのことを言われたんだと思う。そうすれば、色々な項目がこの4項目に、8割くらいは付随していくのではないかと。それ以外のものについては中山間地域振興にとって大事なものであれば、4項目とは別に項目を作って検討しても良いと思う。

小川局長

地域担当制の話は今日は置いておいてもらいたい。

飛野委員長

はい。

布施副委員長

この項目の中に「草刈り」が出る。弥栄の場合はどうだとか、面積割りとか距離割りとかで補助を望む声が一般質問でもよく取り上げられる。私などは助成の有無は関係なく、生活環境を維持するためにやらねばならないこととしてやっている。浜田川は県河川だから県に任せれば良いと言われるが、実際はやってくれないので我々がやる。その際に草を燃やしたいのだが、その場で燃やしても良いとする所と、持って上がって乾燥させるようにと言われる所もある。条件が各自治区で違ってくる。それを福祉環境委員会で言うと、近隣住民に迷惑がかかるから燃やすなと言われる。でもまちの条例では燃やしても良いとされている。そ

の辺りの整合性を追求していくためにも、各自治区における草刈りの現状を確認し合うなどして、草刈りの方策に繋げていけると思う。振興策はそのように検討していった方が良いと思う。1つの草刈りという項目だけではなく、内容まで出していただく方が検討しやすい。

岡本委員

全てが中山間地域の問題ではなくて私のところも問題がある。例えば集落機能の維持対策。集落間というか町内会は実際どうなっているのか。地元の情報なら多少は分かるからそういうものを調べてですね。また、交通通信料対策。買い物なら我々の所にはイズミがあるが歩いて行ける人もいれば、ヘルパーさんをお願いしている人もいるだろう。病院にタクシーで行く人もいるだろう。そのように地域の現状がある。私は今日提示された4つの項目を意識として持ち帰り、自分の地域を調べてくる。調べてきたものを次の時にお出しする。私はこのように認識しているがよろしいか。

飛野委員長

それで良いと思う。その他には。思ったとおり広く深い問題なので、なかなか上手いまとめができない。しかしだいたい意見を出していただいたと思う。こういう意見の中から何か良い芽が出ることを期待する。結論は出なかったが、皆さんが持ち帰って次回に出していただくご意見を参考にしていけたらと思う。

先ほど三浦委員が言われた、この特別委員会の異議をしっかりと頭においておかないといけない。

勝手に締めに入ったが、他にあるか。

布施副委員長

まだ資料にしっかり目を通していない。次までに何をどのように調べてくるか提案を募るなどしないと、また漠然と集まるだけになってしまう。

飛野委員長

一応この辺でまとめとしたいと思う。議題1の定義については、色んな意見が出た。今日の第2回委員会では定義付けはできなかった。従って調査研究テーマ云々も踏まえながら、並行して定義づけをしっかりと時間かけてやっていきたい、という所を今日のまとめとする。

議題2の調査研究テーマについても色んな意見が出た。先ほどあったように次回の開催にあたり、今日出たことを頭に置きながら、各地域のテーマを持ち寄っていただく。その基準は冒頭に議長が示した4項目を基準に置いて、それを中心にして意見を出していただくことにしたい。

布施副委員長

執行部に求める資料提供も、まちづくり推進課に出ている分の資料を出していただく。

飛野委員長

事務局にお願いだが、まちづくりの課題解決型の部分について資料の提出をお願いできればと思う。

小川局長

はい。

飛野委員長

3番については、市の活性化プロジェクトチーム再編云々の中で、協調しもって中山間地問題を改善していきたいと考える。これについても念頭に置きながら、焦ることはないにしろ調査研究テーマを当委員会で作っていく必要がある、そして執行部側にそれを示していくことが大切

である。このようなまとめとさせていただきたい。

その他にはよろしいか。

(「はい」という声あり)

以上私の方でまとめさせていただいたが、委員の皆さんよろしいか。

(「はい」という声あり)

3. その他

飛野委員長

次回の開催だが、正副委員長で相談していた所、出来れば3月19日の週に時間をいただけないかと思っている。

小川局長

午前中は県大の卒業式が入っている。週としては今のところ入っているのは19日だけ。19日は午後からなら。3月議会が15日に終わるので、それ以降は特に事務局として日程は入っていない。

飛野委員長

では19日の週で皆さん都合が悪い日は。時間は基本1時。悪い日と言って欲しい。

布施副委員長

委員会視察、会派の視察等はないか。

《 以下協議 》

飛野委員長

では19日午後1時でよろしいか。

(「はい」という声あり)

小川局長

では3月19日の13時から。とりあえずこの時にはプロジェクトチームが実はもうできているはずだが、今日決定した話をするのなら、まだプロジェクトチームとの意見交換まではいかず、この委員会の中で話をする形で終わる感じがするが、それで良いか。

飛野委員長

意見交換はちょっと難しいと思うので、その方向で。

芦谷委員

何か説明してもらうことはないか。何でも良いと言ったら悪いが、情報提供というか。

飛野委員長

具体的な内容の打合せではなく、一緒にやっという中の代表の方が。

布施副委員長

でも漠然としか話ができないのでは。

川上委員

プロジェクトチームはこちらのテーマに合わせてやりたいと言っているのだ。

飛野委員長

チーム再編の話が出て私も良いと思っている。

芦谷委員

小さな拠点づくりの県資料を見ると、浜田の23か24かあって、丸があちこちについている。それは濃淡がある。この辺の県がやる事業に市職員も同行している。一体どうなのかと。執行部としての対応や考えも参考になると思う。浜田地区は本当に進んでいない。

布施副委員長

芦谷委員の言われる部分についてはよく分かるが、それは次の振興策で対応をどうするかということで意見交換したり聞いたりではできると思う。しかしまだ最初の所についてない。4つの事項を柱にしてやろう

と言うのだけど、まだそれに付随した問題点が各自治区に多いから、それを出してからの話をしようということで、次回の方向性を決めた方が良いのではないか、ということ。それが分かった時点でプロジェクトチームの現状と認識を知るために意見交換をする、それはまたその次だと思ふ。

芦谷委員
飛野委員長
小川局長
飛野委員長

了解。
間に合わないとは思ふが……。
話はしてみる。何か話ができるものがあれば、と。
皆さんそれでよろしいか。
(「はい」という声あり)

小川局長

では次回は3月19日と決まったので、各委員から地域課題を箇条書きにして委員長に提出するのを、2月末、1ヶ月ちょっとあるが2月末までに、箇条書きのペーパーで内容が分かるようにして委員長に提出していただく。私がそれを整理する。

飛野委員長

皆さんそれでよろしいか。
(「はい」という声あり)
その他皆さんからないだろうか。
(「はい」という声あり)
では本日の会を終了する。

(閉 議 14 時 31 分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

中山間地域振興特別委員会 委員長 飛 野 弘 二 ㊞